

2010年度

科目名	古文書学B		
担当教員	山中 浩之		
配当	文財2	コード	51250
開期	後期	講時	金曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	古文書を通して歴史を読む。		
目的と概要	<p>私たちは日々文書を作成し授受している。何のためか。私たちの意志を特定の人や機関に伝達し、それに対する相手の反応や応答に期待し、そのことを通して一定の問題を解決し、新たな社会的関係を築いていくためである。昔も今も人々はそのようにして文書を作成し授受してきた。しかしその際、誰が誰に対して書くか、また時代の社会関係によって、その作成の仕方や書体が異なっていた。古文書を通してその違いを見ることは時代における人と人の関係の仕方や生き方を知ることもある。古文書を通してかつて生きていた人の息づかいを聞き、古文書から歴史を読む面白さを知ってほしい。</p>		
成績評価法	平常点(50%)、授業時のレポート(50%)を加えて総合的に評価		
テキスト	古文書のコピーを配布する。『くずし字解説辞典』/ 東京堂		
参考書	『概説古文書学近世編』、『演習古文書選 近世編』、『暮らしの中の古文書』/ 吉川弘文館		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>原則として古文書学Bの受講者は古文書学Aを履修したものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 古文書を通して民衆の生活を読む。以下の中から2、3を重点的に読む。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活行事 2. 触書 3. 商家家訓 4. 町式目 5. 村掟 6. 道中記 7. 地震災害 8. 疫病の流行 2. 古文書を通して人の一生を読む。以下の中から2、3を重点的に読む。 <ol style="list-style-type: none"> 9. 誕生 10. 成長儀礼 11. 学びとあそび 12. 結婚と離婚 13. 出産 14. 病気 15. 臨終と死 			